

会員紹介（当コーナーでは、JNSA で活躍されている会員の方に、リレー方式で自己紹介をしていただきます。）

株式会社 Kaspersky Labs Japan 前田 典彦



皆様こんにちは。株式会社 Kaspersky Labs Japan（カスペルスキー）の前田典彦と申します。日本電気の一宮様からの御紹介で本稿を執筆させて頂くことになりました。

情報セキュリティと一口に申しましても、皆様ご案内の通りその中身は非常に多岐に渡るなか、私が主に関わっている分野はマルウェア対策です。弊社はロシアのモスクワに本拠を置くマルウェア対策ソフトウェア開発企業 Kaspersky Lab の日本法人で、製品の中にはスパムメール対策やフィッシング対策、URL フィルタ、ディスク・データ暗号化などを備えるものもありますが、主力とする技術はマルウェア対策に関連するものであり、私が所属する情報セキュリティラボという部署では、マルウェア解析を主な業務としています。私自身は端末の前で実際にマルウェアを解析するというよりは、観測・解析結果を取りまとめて外部に発表したり、外部組織との情報共有・連携の窓口として活動したりする場面が増えています。

一見、技術に寄った仕事をしていると言われがちな私ですが、学生時代は経済学と政治学を学んでいたいわゆる文系の人間です。十数年前に初めて社会人となった時に入社した会社が偶然 ISP で、そこでインターネットとそれを支える技術について非常に多くのことを学びました。そこで出会った方を、私は“技術者としての心の師匠”と勝手に仰いでいます。その方から教わり今も覚えている言葉があります。“技術者に必要なものは想像力（≠創造力）である”。私にとっては文字にするだけで神々しく見えて来ました（笑）。日々業務を行っていると、技術的に「これ、どうやったって無理？」といった課題に直面することがあります。そんな時に思い出してみるのがこの言葉です。発想を変えてみる、一見関係のないように思うことももしかしたら関係するかもしれない、例えば、私はマルウェアを起点とする攻撃に対峙することが多いわけですが、自分が仮に攻撃者なら防御がどんな風なら攻撃が難しいのか、といったまさに「想像」を思い巡らせ課題に取り組んでいます。

さて、弊社は 2007 年 12 月に JNSA に加盟をさせて頂きました。加盟前に U40 部会の勉強会へ講師として弊社をお招き頂いたことが契機でした。今年、私はその U40 部会の部会長を担当させて頂いており、懇意にさせて頂いている方々も増え、今後も更に JNSA の活動に参加していければと考えていますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社日立情報システムズ 浅野 豊



JNSA の会員の皆様、はじめまして。株式会社日立情報システムズ浅野と申します。NEC ネクサソリューションズ株式会社中西様よりご紹介いただき、今回担当させていただくことになりました。よろしくお祈いします。

まず簡単に業務の説明ですが、私は 2001 年に入社いたしまして、1 年目はお客様のネットワークのセキュリティの設計・構築・導入に携わり、2 年目からはセキュリティセンタの運用業務に従事いたしました。5 年ほど運用業務を継続した後、同センタの ISMS の運用やセンタ全般の運営担当になり、現在に至ります。

JNSA 様の活動としては、現在は ISOG-J の WG2 と U40 に所属しております。ISOG-J の WG2 では、月 1 回をめぐりに各メンバーが持ちまわりで勉強会を開催しています。本勉強会では、セキュリティに関する発表やセキュリティオペレーションに有用な商品の紹介、また時にはハンズオンセミナー形式で講義を実施し技術交流を図っています。また、勉強会の後には毎回懇親会を実施し、交流を深めております。U40 の方でも主に勉強会に参加させていただいておりますが、先期は業務の都合もあり、あまり参加できませんでした。今期は再び参加できればと思っております。

情報セキュリティについては、先日あったちょっとうれしい話を紹介します。ある時知人から「社内でセキュリティ事故が起きた。どこまで対策したらよいか悩んでいる」という相談を受けました。話を聞くと、明らかにやりすぎの部分がありました。セキュリティは一般的に言われておりますように、利便性とは相反するもので、ガチガチに固めてしまうと業務の効率が悪くなり、緩くしてしまうとセキュリティ事故発生の確率が高くなります。このバランスが難しいところですので、きちんとリスクアセスメントを実施して、リスクのインパクトを分析してから適切な対策を適用する必要があります。私は一般的な話をただけですが、知人にとっては新鮮だったようで、熱心に聞いてくれました。私は普段は社外のお客様と接していないので、こちらもその反応が新鮮で、嬉しく思いました。ただし最後に、外部の人間に社内の事情をべらべら話すのは、セキュリティ上あまりよろしくないと思う、ということ伝えて締めました（笑）。

私は JNSA 様の活動に参加させていただくまでは、あまり外部の方とお付き合いする機会がありませんでしたが、ISOG-J や U40 に参加させていただいたおかげで、同じ業界の他社の方と交流を持つことができました。非常に感謝しております。今後も JNSA の活動で見識と交流の輪を広げていきたいと思ひます。ありがとうございました。